

# 根津鋼材

## 大型スリッターライン

### 母材搬入側 完全無人化へ

#### 作業者の安全確保を優先

根津鋼材(本社・東京都荒川区、社長・根津訓光氏)では、現場の安全対策推進の一環でコイルセンター拠点の須賀川事業所(福島県須賀川市)と蓼科事業所(長野県茅野市)の大型スリッターラインのアンコイラー(母材搬入側)を順次、自動化する。

(2面参照)



根津社長

アンコイラーに母材

を自動で供給するコイル台車を、須賀川には8月中旬に4台、蓼科には年末までに6台それぞれ設置し、あわせて母材コイルの結束バンドを自動で切断するシステムも装備する。本システムには巻き戻しコイルを自動結束する機能も搭載しており、導入後は両ラインとも「入り側」の完全無人化を実現。作業効率アップはもちろん、現場オペレータがライ

ン付近やコイルの傍らで作業する必要がなくなるので、安全性が大幅に向上する。

同社は05年に長沼事業所(福島県須賀川市)

の大型スリッターラインで「入り側」の自動化・無人操業化に着手。自動アンコイラー(コイルカー8台)と自動結束装置を導入した。

業所(福島県須賀川市)

06年には須賀川事業所の大型レベラーラインにも同様のシステムを導入している。

オペレータの作業環

年内には長沼のスリッターにも後づけで採用すり、ライン入り側の安全が一段と高まる。

境の向上と安全対策を最優先する同社では、入り側の完全無人化に向け母材コイルの結束バンド切断も自動で行う装置を付加した改良システムを須賀川、蓼科に導入する。この自動結束バンド切断装置はレトロフィット(後づけ)も可能。